

事業紹介

女性のまちづくり参画講座

10月から3月まで
2校区で複数回開催



コーディネーター
NPO法人福岡ジェンダー研究所

地域活動への女性の参画を進めるために、意識啓発や女性自身のスキルアップ、ネットワークづくりを支援し、地域コミュニティ組織やPTA等の役員登用につながるような女性人材の発掘、育成事業を実施しました。既に地域で活動されている女性も、これから活動する女性も共に地域の実情にあった課題を洗い出し、その解決に向け積極的な意見交換や発表が行われました。



東国分校区

「もしもわたしが避難所の運営委員になったら」

~~~~~

防災と男女共同参画をテーマに大規模災害時の拠点となる避難所のあり方について、東日本大震災から学ぶワークショップを開催しました。災害時には、乳幼児、妊産婦、障害者、外国人、高齢者など立場の違った人が避難してきます。災害における多様性の視点とは、女性・男性という性の違いや、障害の有無や種類、年齢、家族構成など、被災者一人ひとりが置かれた立場の違いを前提として、課題に気づいたり支援を実施していくという考え方です。



避難所リーダーの多くは男性の役員が担いがちですが、幅広いニーズを支援するには女性リーダーの存在は重要で、平常時からの男女平等の仕組みづくりが大切です。参加者からは「私たちの地域は私たちで守る。校区の安全・安心のために頑張ります」と言った積極的な意見が出されました。

## 安武校区

### 「住みたくなるまち 安武 未来のカタチをみんなで語ろう！」

~~~~~



「住みたくなるまちってどんなまち？」をテーマに、音楽が流れるリラックスした雰囲気の中で、テーブルを回りながら語り合うワールドカフェ形式で自分たちが住む地域について考えました。

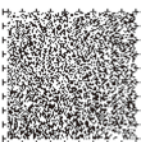
「安武校区のいいところ、気になるところ。ここがもっとこうなったらいいな。多様な人がまちづくりに参画すると、どんなことが変わりそう？ここがもっとこうなったら理想の地域像につながると思うのはどんなこと？」など、日頃、地域活動をする中で抱えている悩みや思いなど、課題と背景を付箋に書き出し模造紙にまとめました。



いろいろな課題を参加者同士で共有し、どのような解決策やアイデアがあるか、また安武の魅力などを出し合い語り合いました。

ひとりのつづやきは個人が抱える問題と思われがちですが、地域や社会の課題でもあり改善の種にもなります。

グループ発表では「おもいをカタチにするには自分事として捉え、自分たちの力で変えられるという認識を持つことが大事。未来のために一歩行動に移しましょう」など、地域に関わることへの意識が高まり、『みんなで楽しく、住みたくなるまち安武』を目指し活発な意見交換がされました。



参加者の声

- 自分の住んでいるところを改めて考える機会が持てて良かったです。
- 私も住んでいるまちをもっと良い方向へ一緒に考え、取り組めたらと思いました。
- 住みやすいまちにするために、通じ合う気持ちを相手に伝えることが大事だと思いました。